

貫井の風

平成29年度

臨時号

練馬区立貫井中学校 学校だより

平成29年度・学校評価に関わる

保護者・生徒・教員アンケート結果

学校評価に関わるアンケートのご協力、大変ありがとうございました。

いただいたアンケートを分析し、分析結果に対して学校評議員の方々からのご意見をいただきましたので、平成30年度の教育活動にいかしていきます。

今年度のアンケート数は生徒（309）、保護者（228）、教員（20）でした。



*以下の数値は各質問項目の、④とても思うと、③思うを合わせて%で表した数値です。
また、分析、今後の方向性や改善策を記載しています。

(1) ～ (5) 学力向上

(1) 落ち着いた学習環境のなかで、意欲的に授業を受けていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 95% | 71% | 85% |

(2) 基礎的・基本的な内容を身に付けてきていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 88% | 69% | 60% |

(3) 少人数や習熟度別指導（数学・英語）が効果的になされていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 81% | 62% | 45% |

(4) 総合的な学習の時間などで、問題に対して自分で考え、判断して物事を解決しようとする態度が育ってきていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 89% | 69% | 80% |

(5) 朝の読書や学校図書館の利用により、読書習慣が身に付いてきていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 72% | 44% | 80% |

○学力向上について

- ・ 生徒は落ち着いた雰囲気、環境で授業を受け、学習している。しかし、生徒や教員と保護者の数値にやや開きがある。

これは日頃の授業に生徒は真面目に取り組んでいる実態があるが、全体的な学力の低さを心配している表れと考える。基礎基本をしっかりと身に付けさせ学力の向上等に力を入れたい。

今後も生徒自身の家庭学習習慣の定着や、自ら質問するなどの自学自習の姿勢をしっかりと身に付けていく必要がある。そのためには日常の教員の声かけ、面談、日常の学力補充、質問しやすい雰囲気づくりに学校は努めたい。しかし、これには家庭の協力も必要である。しっかりと取り組めていないお子さんには家庭からの声かけ等の支援も必要となる。また、今年度試行的に取り組んだ学校地域連携事業としての学力補充にも学校として力を入れたい。



習熟度別少人数授業（数学、英語）は子どもにとって大変好評であるが、教員にとっては打ち合わせの時間がなかなかとれず進め難い実態や、保護者にとっては授業の参観や情報不足のためか、低い数値になっていると考える。

- ・ 読書については朝読書の実施、図書館支援員によるたより等での読書啓発、教科指導（国語）を通じた読書啓発、年間2回の読書月間を設定して生徒の読書啓発に努めている。今後も朝読書に生徒一人一人がしっかりと読書に取り組むよう指導を継続する。

（6）～（10）健全育成

（6）自分の子どもが楽しく学校生活を送っていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 94% | 93% | 95% |

（7）道徳の授業を中心に、生命の大切さや思いやりの心が育ってきていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 86% | 83% | 85% |

（8）悩みや心配事についてお子さんが相談しやすい環境だと思えますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 76% | 56% | 80% |

（9）不登校やいじめ防止・いじめの早期発見に向けて取り組んでいると思えますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 88% | 57% | 90% |

（10）学校の施設・設備や校舎内は、安全できれいだと思えますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 92% | 86% | 80% |

○健全育成について

- ・ 生徒は基本的な生活習慣を身に付ける中で楽しい学校生活を過ごしていると同時に、命の大切さや思いやりの心を持ち、周囲ともやさしい気持ちで接しているようすが数値から垣間見える。また、学校環境も良好と考える。

しかし、悩み相談、いじめ防止等に生徒・教員と保護者の数値に開きがあり、学校と

しては保護者の不安の表れとして受け止めたい。そのため、今後も生徒の悩みの受け止め、教育相談等に力を注ぐと同時に、学校としてガイダンス機能の充実に努める。

- いじめ等に対する取組は、教員と生徒の数値は高く、概ね良好と考えるが、保護者の数値が低いことが気になる。今後も学校として素早い対応をするとともに、その撲滅に力を入れていく。また、いじめの防止については家庭との連携も適切に図ると同時に、PTA組織の協力も適宜いただきたい。



(11) ～ (17) キャリア教育

(11) 運動会や合唱コンクールなどの学校行事や、生徒会その他諸活動を通じて、自主的な態度が育まれていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 95% | 92% | 90% |

(12) 進路学習（1、3年）や職場体験学習（2年）を通じて、自分の将来のことを考える態度が身に付いてきていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 91% | 69% | 90% |

(13) 保護者と連携を密にしながら、個に応じた進路指導を行っていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 85% | 53% | 85% |

(14) 礼儀や言葉遣いが、挨拶が身に付いてきていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 97% | 88% | 95% |

(15) 情報モラルや防災教育、セーフティー教室を通して、規範意識や社会性が身に付いてきていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 91% | 79% | 90% |

(16) 部活動を通じて自己肯定感が向上していると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 86% | 90% | 80% |

(17) オリンピック・パラリンピック教育を通して、スポーツや健康への意識を高めるとともに、障がい者理解の促進がなされていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 88% | 66% | 65% |

○キャリア教育について

- 本校の主体性を育む生徒の自治活動等が成果として数値に表れている。生徒は学校生活のさまざまな場面で責任や役割を担い、自主的に判断し、行動する習慣や力が学

年進行とともに増していると考え。挨拶や言葉遣いの成長もしっかりと表れている。

- ・ 進路指導については、学校の取組に対する情報の提供が不足しているためか、保護者の数値が低い。ただし、学校における進路指導やキャリア教育とは日々の指導であり、受験や進学指導に絞ったものではないことをご理解いただきたい。しかし、適切な時期にしっかりとした情報提供等も保護者会や面談等を通じて必要と考える。学校としては今後も、家庭との連携、連絡を密に図り、進路指導等の充実に努めたい。
- ・ オリンピック・パラリンピック教育の保護者や教員の数値が低い。今後も教科指導や特別活動、総合的な学習の時間を活用し、その充実に努める。

(18) ～ (19) 開かれた学校づくり

(18) 学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを通じて学校生活のようすが分かりやすく伝えられていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 87% | 80% | 85% |

(19) 学校公開、道徳授業地区公開講座、保護者会は学校と地域・保護者との理解を深める機会となっていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 83% | 70% | 79% |

○開かれた学校づくり

- ・ 学校の様子をたよりやホームページ等である程度伝え、情報の提供については概ね良いと考える。しかし、学校公開時（授業の参観等）の保護者の集まりが少ないと感じる。学校から連絡メール等でお知らせを発信していくので、ぜひ学校にお越しいただき、お子さんの授業等での取組状況を把握してもらいたい。また、ご来校いただくことで本校の教員と接点を持ち、会話もする中で学校の教育活動や取組への理解を深めていただけたらと思う。さらに、保護者会については学校として工夫を心がけていく。



(20) 小中一貫教育

(20) 児童・生徒の交流、行事の交流を通して、小中一貫教育が深められていると思いますか。

| 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-----|-----|-----|
| 77% | 40% | 60% |

○小中一貫教育について

- ・ 小中一貫教育は練馬第二小学校、練馬第三小学校とグループをつくり連携を図りながら進めている。情報提供が少ないためか保護者の方々がそのようすが把握していないと思います。特に連携としては小中の校区别協議会を実施する中で、小中学校の教員が互いの学校の授業を参観したり、生活指導や各教科の課題改善カリキュラムの作成にあたりたりしている。また、部活動体験・見学、中学校への訪問・見学、合唱コンクールリハーサルの児童の見学、児童の中学校生活のアンケート実施、海外派遣報告会などを実施してきた。しかし、そのようすが保護者や地域の方々には良く伝わっていない。今後は小中一貫教育の取組内容や情報発信の工夫を行いたい。